

W-BRIDGE プロジェクトシンポジウム

**先進国で暮らす私たちは「社会福祉の転換期」にどう立ち向かうのか
～バングラデシュの事例から考える“市民主導型”的可能性～**

日時：2017年6月3日（土）15：30～17：30

場所：早稲田大学 26号館 地下 多目的ホール

主催：



共催：

ソーシャル&ヒューマン・キャピタル（WISH）研究所



目次

- 0. はじめに
- 1. 開催概要
- 2. 開催趣旨
- 3. プログラム
- 4. 参加者の声

添付資料

- 1. 池田洋一郎氏 基調講演資料
- 2. 山本秀樹氏 基調講演資料
- 3. 薄井大地 基調講演資料
- 4. 参加者アンケート

0. はじめに

2017年6月3日（土）早稲田大学にて、W-BRIDGE プロジェクトシンポジウム「先進国で暮らす
私たちは『社会福祉の転換期』にどう立ち向かうのか～バングラデシュの事例から考える"市民主導型"の
可能性～」を開催いたしました。

以下、本シンポジウムについて報告いたします。

1. 開催概要

本シンポジウムの概要を以下の表に記す。

日時	2017年6月3日（土）15:30～17:30 （懇親会 18:00～20:00）
場所	早稲田大学 26号館地下多目的ホール
参加人数	参加者：59名、登壇者：5名、スタッフ：4名
参加費	無料
主催	GCMP LLC
共催	W-BRIDGE / ソーシャル＆ヒューマン・キャピタル研究所（WISH 研究所）

2. 開催趣旨

野口教授のもと合同会社 GCMP が進めてきたプロジェクトは 2015 年 7 月より 2 年間、早稲田大学とブリヂストンによる連携研究プロジェクト W-BRIDGE の助成を受けてきた。2 年の助成期間が終了するにあたって、その成果を広く社会に発信し、今後の展望を示すことをひとつの目的として本シンポジウムが企画された。バングラデシュという共通のフィールドに、ミクロ・マクロな視点から関わってきた経験をお持ちのゲストスピーカーをお呼びし、途上国における「市民主導型」の可能性とその課題を明らかにすることを通して、日本への示唆を考えることを目指している。

3. プログラム

開会の挨拶

早稲田大学政治経済学術院教授 野口晴子

基調講演①

「市民参加による国づくりの現場から～元世界銀行職員からの報告～」

財務省・官民共同ネットワーク Crossover 代表 池田洋一郎 氏

基調講演②

「海を渡った“Kominkan”～バングラデシュと日本の現場で住民参加の輪を紡ぐ～」

帝京大学大学院公衆衛生学研究科 山本秀樹 氏

活動報告

GCMP 団体概要および活動報告

合同会社 GCMP 代表社員 薄井大地

パネルディスカッション

「先進国と途上国が学びあう時代を迎えて」

パネラー：池田洋一郎氏、山本秀樹氏、薄井大地

モデレーター：野口晴子

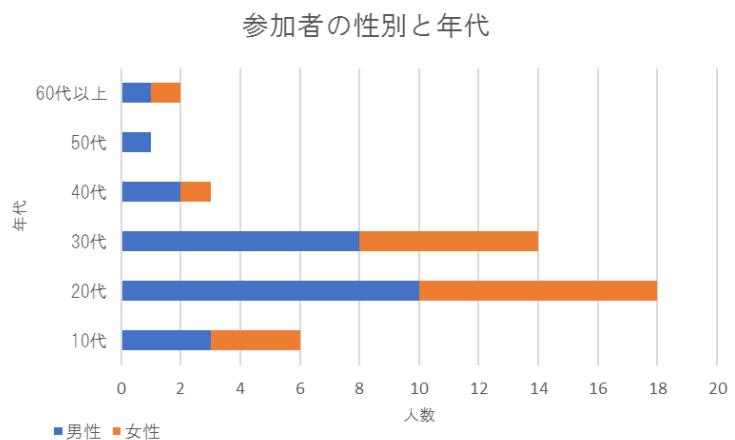
懇親会

4. 参加者の声

シンポジウムには 59 名の一般参加者が参加した。参加者にはシンポジウム後にアンケート（資料～）を実施した。以下その結果を報告する。（アンケート回収率：79.7%）

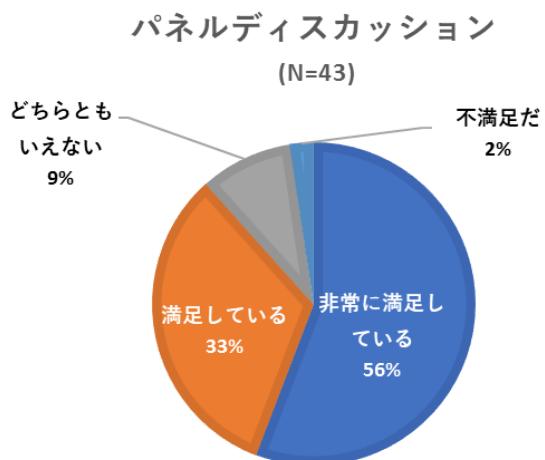
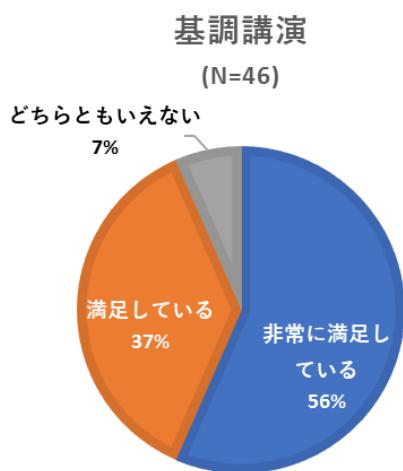
■参加者層

学生社会人含めて、20 代～30 代の若年層が主な参加者層であった。男女比で比べると、男性参加者の方が若干多かった。



■本シンポジウムに関する満足度

全体として非常に満足度が高かったといえる。今回のシンポジウムが決して学術的な内容に終始せず、現場での実践と学術的概念を結び付けようとしたところに特徴があったといえるだろう。パネルディスカッションに関しては 30 分ほどしか時間をとることができず、駆け足になってしまった。パネルディスカッションと質疑応答により多くの時間をとっていたら、参加者とパネリストの間でより踏み込んだ対話ができ、参加者の満足度もより高まったことが自由記述欄に寄せられたコメントからも推測される。





市民参加による国づくりの現場から
～元世界銀行職員からの報告～

Part1 • バングラデシュ マクロの視点から
～建国45年の軌跡～

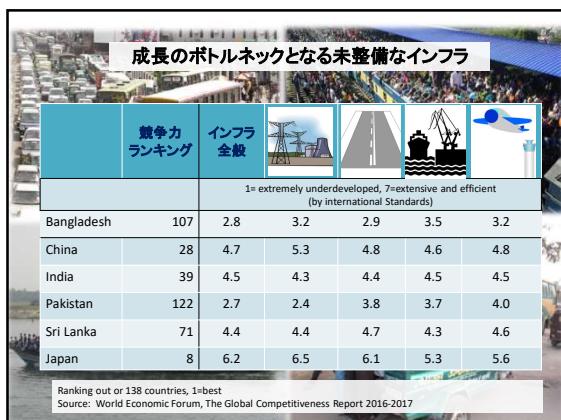
Part2 • バングラデシュ 現場の視点から
～市民参加による開発プロジェクトモニタリング～

Q1：日本の人口密度がバングラデシュと同じだったら、人口は何人？	
A	B
2億3千万人	2億7千万人
C	D
3億3千万人	4億3千万人

Point 1：今後も膨らむ超過密人口はバングラデシュの困難と可能性の源

困難

- インフラの整備（都市開発、都市防災）
- エネルギー、水、食料の持続的な確保
- 公衆衛生の改善



Point 1：今後も膨らむ超過密人口はバングラデシュの困難と可能性の源

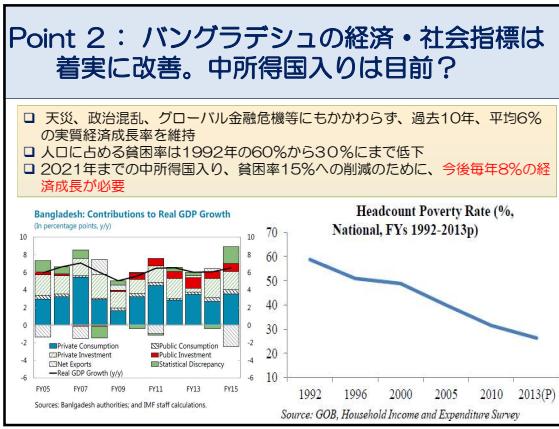
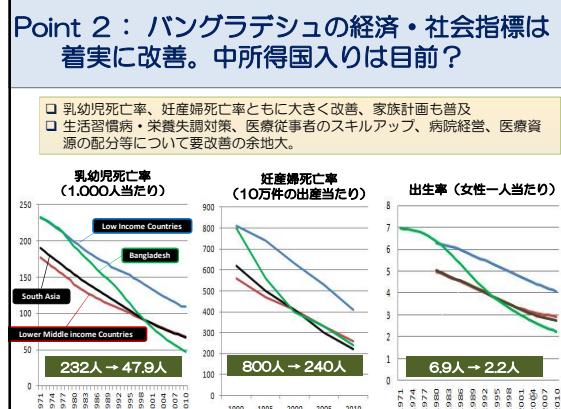
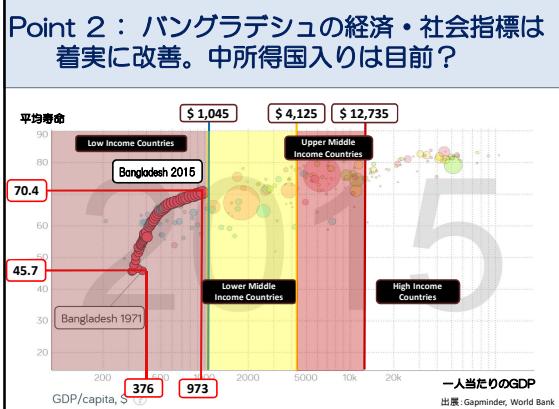
可能性

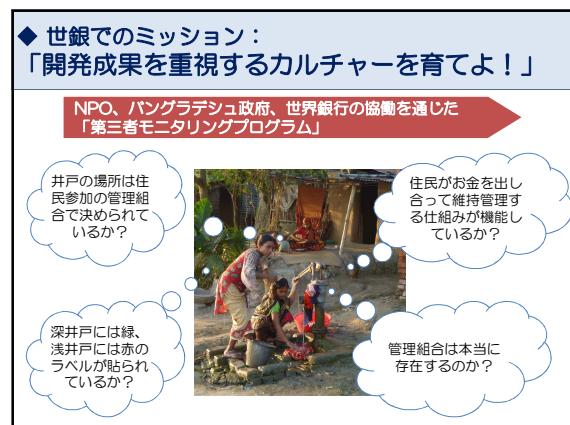
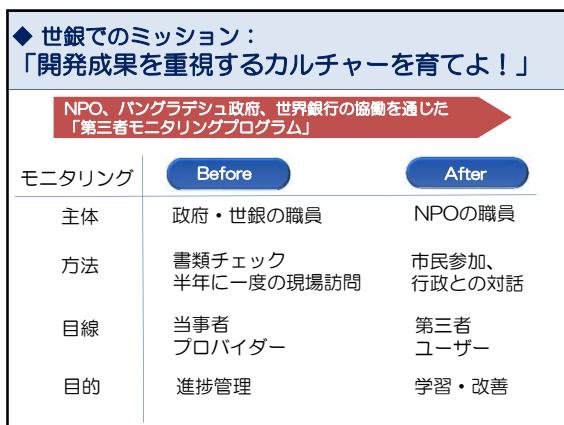
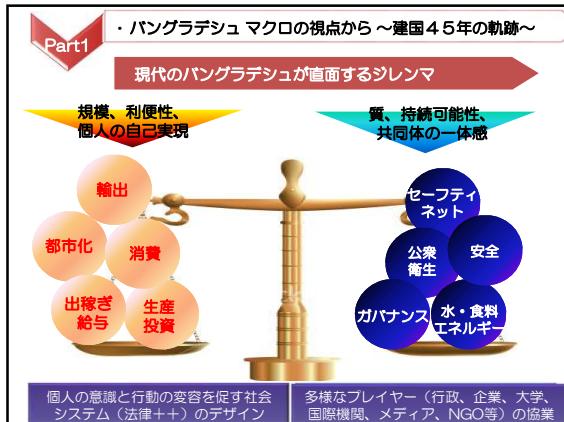
- 豊富な若い労働力（生産者）
- 有望な消費市場（消費者）
- 相互扶助・相互監視を成り立たせる豊かな社会資本

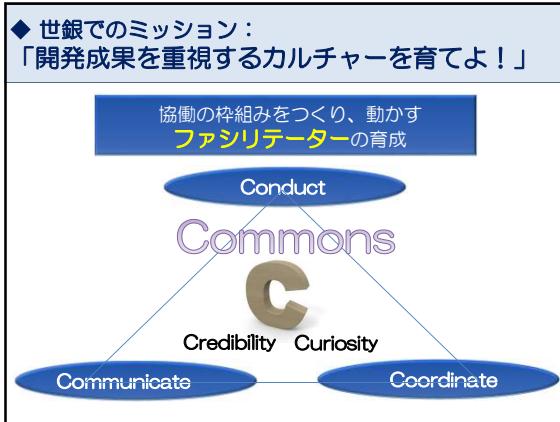


Q2 : バングラデシュのGDPは世界何位ででしょう？

A	45位	B	85位
C	125位	D	165位







池田岸一郎 経歴（国籍×国際公務員として）		yoichiroikeda1030@gmail.com
2001年	早大政治学部政治学科卒業 財務省入省 主計官企画係	・着手後編成後、小泉政権初の予算編成
2002年	主計局 調整係、予算執行調査係	・「予算執行調査」を立ち上げ
2003年	広報庁国語監修官	・法人向け税務調査に従事
2004年	金利政策企画室政策課係長	・「金融改悪プログラム」を策定、「金融サービス利用者相談室」を立ち上げ
2005年	ハーバード大学ケネディスクール 留学 ・公共事業修了号の取得 ・夏季・冬季の休暇中、インドのマイクロファイナンス組織でのインターン、ケニアのEV-AIDS孤児院でのボランティア、米国マイクロファイナンス組織でのインターンに従事	
2008年	国際局国際調査室 謙長輔	・歐米のマーケット・経済・金融相手として世界金融危機対応チームを指揮
2009年	国際局国際調査課 謙長輔	・IMF、G7、G20担当として、欧米債務危機の対応チームを率める
2010年	国際局国際開拓課 謙長輔	・世界銀行グループとしてのIMF増資交渉、世界と日本の開拓の企画・立案
2011年	世界銀行→移籍 ハーバードラディック事務所 業務担当官	・世銀の「ハイブリッシュ国際開拓の実践」モチベーションに従事、 市民参加型のプロジェクト・モニタリングの仕組みを立ち上げ
2013年	世界銀行→同上 業務担当官	・世界銀行→モニタリングの経営企画にて、指標指標の策定、世銀をより開拓成果を重視する機能に に改めるための改革プロセスの実質、実務に従事
2014年	財務省復職 国際局国際開拓政策課 室長	・円借款、BIFC融資制度等を活用した日本企業の海外融資支出にかかる施策の企画・立案を指揮
2015年～	主税局 参事官補佐（国際税務担当）	・日本と外国との間で発生する二重課税や國際的な税財を防止するための「租税 条約」交渉、租税回避防止に向けて国内法の改正等に従事





官民協働ネットワーク
Crossover

国境、言葉の壁を乗り越えよう！英語でCrossover !!
Platform for International Policy Dialogue (PIP'D)



官民と、薬剤師と非営利、年齢や国境、階層や先入観など、多くの団体にある壁を乗り越える力を高め、社会問題解決に向けた討論を繰り出す媒體

■ 国内外の政治・経済・社会問題に関するセミナー開催会員登録

■ Crossover主催のセミナー、シンポジウム、イベントに参加希望の方は、ウェブサイトから会員登録を！

<http://crossover21.net/>

日付	講師	内容	登録
2015/01/20 [月曜]	Mr. Alberto Lahoz チャーチル・ソシアル・セミナーハウス	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家)	登録
2015/01/21 [火曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/01/22 [水曜]	Mr. Jim Cullen University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/01/23 [木曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/01/24 [金曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/01/25 [土曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/01/26 [日曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/01/27 [月曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/01/28 [火曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/01/29 [水曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/01/30 [木曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/01/31 [金曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/01 [土曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/02 [日曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/03 [月曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/04 [火曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/05 [水曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/06 [木曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/07 [金曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/08 [土曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/09 [日曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/10 [月曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/11 [火曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/12 [水曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/13 [木曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/14 [金曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録
2015/02/15 [土曜]	Mr. Robert D. Edwards University of Cambridge 政治学者	【セミナー】「政治家が語る政治家」(政治家による政治家) Hacking sense of politics in the 2014 US Presidential Election	登録



本日の講演

- 日本とバングラデシュ
- UNESCO とバングラデシュのCLC
- 公民館の歴史
- ESD国際会議2014@岡山
- バングラデシュでCLCを活用した研修の事例
- 公衆衛生・地域福祉とコミュニティー
- 東日本大震災を受けて
- まとめ



国際母語デー(2月21日、ユネスコ制定1999年)と日本

- 日本国内にバングラデシュ人が12,300人在住(2016年)
 - その大部分が、首都圏
 - 東京都北部3区(豊島区・板橋区・練馬区 1000人)、埼玉県等
- 池袋で毎年4月に祭り(ボイシヤキメラ)
- ユネスコ国際母語の日(2月21日)
 - 東パキスタン(バングラデシュ)でベンガル語を使う運動・闘争(1951)
 - ラビンドラナート・タゴール(1917: 当時英領インド、文学賞)
 - アジアで最初のノーベル賞受賞者
 - ベンガル語で詩を制作、インド・バングラデシュ国歌に採用
 - 日本初の受賞者:湯川秀樹(1949、物理学賞)
 - バングラデシュ人としての受賞:モハメドユヌス (2006、平和賞)
- 豊島区
 - 池袋西口にバングラデシュ・ショヒドヒナールの石碑(2005)

7

海外の公民館(Kominkan)-バングラデシュ




- 1972年独立
- 旧:東パキスタン
- 人口:1億6千万人
- 面積:北海道程度
- 宗教:イスラム教
- 一人あたりのGDP:約500ドル
- 洪水
- 感染症(下痢)

8

本日の講演

- 日本とバングラデシュ
- UNESCO とバングラデシュのCLC
- 公民館の歴史
- ESD国際会議2014@岡山
- バングラデシュでCLCを活用した研修の事例
- 公衆衛生・地域福祉とコミュニティー
- 東日本大震災を受けて
- まとめ

9

公民館とCLC (Community Learning Center)



The Functions of CLCs : An Integrated Approach

- EFA (Education for All)
- 識字だけでなく機能的識字、地域づくりの拠点として利用(ユネスコバンコク事務所提供)



10

バングラデシュと公民館(CLC)




CLCは女性に学習機会を提供
災害時の避難拠点
防災教育の実施

11

公民館に関する岡山宣言2007年11月1日

- 公民館(Kominkan/CLCs)がESDを推進する地域の拠点に! ⇒公民館が世界のESDの場に
- ユネスコダッカオフィス大安氏・バングラデシュのNGO(DAM)が貢献




12

公民館(Kominkan)とは

- 公(Public)-民(Citizen)-館(Hall)
- 寺中構想(1946) — 昨年70周年
- 1949年に制度化(社会教育法)
 - 第二次世界大戦の反省
 - 成人の民主的な教育を促進
 - 戦争を防ぎ、平和な社会をつくる事を目的
 - UNESCOの創設の目標と同じ
- 我が国に18,000館あり
- 地域における学習の場
- 災害時の避難所・救援の拠点

我が国の教育行政

- 国
 - 文部科学省
 - 初等中等局
 - 高等教育局
 - 生涯学習局(社会教育課)
- 都道府県
 - 教育委員会 ←→ 首長部局
 - 県立学校・美術館・図書館など
 - 生涯学習センター(政令指定都市)
- 市町村(特別区)
 - 教育委員会 ←→ 首長部局
 - 市区町村立学校・美術館・図書館・**公民館**

14

地域(Community)の役割

- 地域(Community)が持続可能な発展のために問題解決にあたる必要
 - 地域はESDを実践する上で適切な場所である
 - 3つの基本的ESDの柱プラス**文化**
 - 経済
 - 環境
 - 社会
- 「公民館(CLC)」を利用することが地域力の強化→持続可能な開発

15

CLCとESDに関するユネスコ世界会議




ESD の10年の最終会議、専門会議の一つ
UNESCO, 日本国政府主催、岡山市を開催
30カ国、700人が参加、日本の良い事例として長野県飯田市・板橋区が紹介¹⁶

公民館を世界に

- 2014年に岡山市でユネスコ世界会議(国連ESDの10年の最終年の総括会議)開催につながった
- 岡山での会議成果文書「岡山コミットメント2014」は、地域社会における持続可能な開発に関する包括的な提言であり、2015年の国連防災会議(仙台)にも反映された



17

本日の講演

- 日本とバングラデシュ
- UNESCO とバングラデシュのCLC
- 公民館の歴史
- ESD国際会議2014@岡山
- バングラデシュでCLCを活用した研修の事例
- 公衆衛生・地域福祉とコミュニティ
- 東日本大震災を受けて
- まとめ

18

バングラデシュ
一岡山会議での中心的地域

- 帝京大学公衆衛生学研究科の大学院生の実習の場として、ユネスコ・ダッカ事務所、DAM、BRACらNGO団体と協力して、CLCを訪問し現地の健康問題(特に「社会」との関わり)について、地域社会・住民参加について学ぶ場として、公衆衛生専門職の育成のために活用
- (2014年12月実施)

19

教育セクターと保健医療セクタの類似

- Health for All (HFA:万人のための教育) by the year 2000, WHO
 - アルマータ宣言 1978
- Education for ALL (EFA:万人のための教育) 2000
 - ジョムティエン(タイ)会議 1990
 - 途上国、下層階級、女性、少数民族 等 教育の機会が行き届かない人に支援-公民館をモデルに
 - Basic education 基礎教育
 - ダカール会議(セネガル) 2000
 - 目標・行動計画を
- 教育への投資-健康改善につながる(効率の良い)
- Primary, secondary, tertiary education ←→ health care

20

帝京大学バングラデシュの海外実習(2014)

- 国際保健学実習
 - ブラック大学(BRAC)
 - 国際下痢研究所(ICDDR,B)
 - UNESCO

ブラック大学(BRAC)・国際下痢研究所

山本の米国留学時の師匠、Dr.Richard Cash、バングラデシュの下痢研究所でコレラや下痢とORSの研究を実施

ORS(経口補水液)

- バングラデシュ国際下痢研究所で開発
- 世界に広がる
- 日本でもスポーツ飲料に

NGOの事例(AMDA)

大使館の草の根無償資金協力で施設を建設・環境と保健・職業訓練を実施 生計向上

24

AMDAが運営するCLC



岡山県玉野市の中学校と交流(竹谷先生)

25

地域の保健人材育成を(ガザリア地区にて)



26

地域での保健活動の拠点



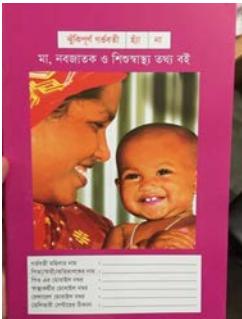
27

世界最大のNGO— BRAC



28

バングラデシュ版母子手帳



29

BRACクリニックで母子手帳を使った妊婦の学習会



30

NGO (DAM)が運営するダッカ市内のスラムにおけるCommunity School

31

誰も取り残さない試み(ダウン症)

32

ダウン症の啓発と支援

33

地域で暮らす人を支える場

34

高齢者病棟開所セミナー@ダッカ

35

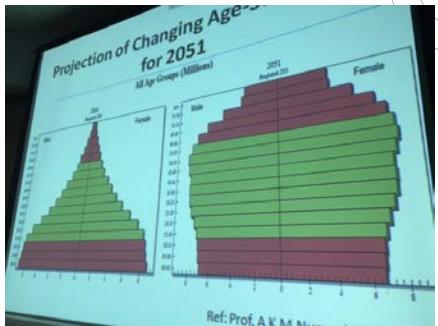
バングラデシュ人口ピラミッド(2015)

日本の人口ピラミッド(2015年)

バングラデシュでも高齢化が始まっている！

36

バングラデシュ人口予測と高齢化



37

Seminar on Geriatric Management
Topic: "Sharing Japanese Experience as the
Front-Runner of the Ageing Society"

Keynote Speaker:
Prof. Nanako Tamya
Department of Health Services Research
University of Tsukuba
Japan
Organized by
Japan Bangladesh Friendship Hospital (JBFH)
Dhaka Evergreen Retirement Homes (DERH)

University of Tsukuba

38

バングラデシュ・老人病棟



39

本日の講演

- 日本とバングラデシュ
- UNESCO とバングラデシュのCLC
- 公民館の歴史
- ESD国際会議2014@岡山
- バングラデシュでCLCを活用した研修の事例
- 公衆衛生・地域福祉とコミュニティー
- 東日本大震災を受けて
- まとめ

40

平均寿命 都道府県別平均寿命 (2010)

都道府県別平均寿命	
男性	80.88歳
女性	87.18歳
長寿	日本一
最長寿	沖縄県
最短寿	東京都
平均寿命	80.88歳
標準偏差	±3.18歳
年齢構成	65歳以上 15.1%
年齢構成	75歳以上 7.1%
年齢構成	85歳以上 2.1%
年齢構成	95歳以上 0.5%
年齢構成	105歳以上 0.1%
年齢構成	115歳以上 0.0%
年齢構成	125歳以上 0.0%
年齢構成	135歳以上 0.0%
年齢構成	145歳以上 0.0%
年齢構成	155歳以上 0.0%
年齢構成	165歳以上 0.0%
年齢構成	175歳以上 0.0%
年齢構成	185歳以上 0.0%
年齢構成	195歳以上 0.0%
年齢構成	205歳以上 0.0%
年齢構成	215歳以上 0.0%
年齢構成	225歳以上 0.0%
年齢構成	235歳以上 0.0%
年齢構成	245歳以上 0.0%
年齢構成	255歳以上 0.0%
年齢構成	265歳以上 0.0%
年齢構成	275歳以上 0.0%
年齢構成	285歳以上 0.0%
年齢構成	295歳以上 0.0%
年齢構成	305歳以上 0.0%
年齢構成	315歳以上 0.0%
年齢構成	325歳以上 0.0%
年齢構成	335歳以上 0.0%
年齢構成	345歳以上 0.0%
年齢構成	355歳以上 0.0%
年齢構成	365歳以上 0.0%
年齢構成	375歳以上 0.0%
年齢構成	385歳以上 0.0%
年齢構成	395歳以上 0.0%
年齢構成	405歳以上 0.0%
年齢構成	415歳以上 0.0%
年齢構成	425歳以上 0.0%
年齢構成	435歳以上 0.0%
年齢構成	445歳以上 0.0%
年齢構成	455歳以上 0.0%
年齢構成	465歳以上 0.0%
年齢構成	475歳以上 0.0%
年齢構成	485歳以上 0.0%
年齢構成	495歳以上 0.0%
年齢構成	505歳以上 0.0%
年齢構成	515歳以上 0.0%
年齢構成	525歳以上 0.0%
年齢構成	535歳以上 0.0%
年齢構成	545歳以上 0.0%
年齢構成	555歳以上 0.0%
年齢構成	565歳以上 0.0%
年齢構成	575歳以上 0.0%
年齢構成	585歳以上 0.0%
年齢構成	595歳以上 0.0%
年齢構成	605歳以上 0.0%
年齢構成	615歳以上 0.0%
年齢構成	625歳以上 0.0%
年齢構成	635歳以上 0.0%
年齢構成	645歳以上 0.0%
年齢構成	655歳以上 0.0%
年齢構成	665歳以上 0.0%
年齢構成	675歳以上 0.0%
年齢構成	685歳以上 0.0%
年齢構成	695歳以上 0.0%
年齢構成	705歳以上 0.0%
年齢構成	715歳以上 0.0%
年齢構成	725歳以上 0.0%
年齢構成	735歳以上 0.0%
年齢構成	745歳以上 0.0%
年齢構成	755歳以上 0.0%
年齢構成	765歳以上 0.0%
年齢構成	775歳以上 0.0%
年齢構成	785歳以上 0.0%
年齢構成	795歳以上 0.0%
年齢構成	805歳以上 0.0%
年齢構成	815歳以上 0.0%
年齢構成	825歳以上 0.0%
年齢構成	835歳以上 0.0%
年齢構成	845歳以上 0.0%
年齢構成	855歳以上 0.0%
年齢構成	865歳以上 0.0%
年齢構成	875歳以上 0.0%
年齢構成	885歳以上 0.0%
年齢構成	895歳以上 0.0%
年齢構成	905歳以上 0.0%
年齢構成	915歳以上 0.0%
年齢構成	925歳以上 0.0%
年齢構成	935歳以上 0.0%
年齢構成	945歳以上 0.0%
年齢構成	955歳以上 0.0%
年齢構成	965歳以上 0.0%
年齢構成	975歳以上 0.0%
年齢構成	985歳以上 0.0%
年齢構成	995歳以上 0.0%
年齢構成	1005歳以上 0.0%
年齢構成	1015歳以上 0.0%
年齢構成	1025歳以上 0.0%
年齢構成	1035歳以上 0.0%
年齢構成	1045歳以上 0.0%
年齢構成	1055歳以上 0.0%
年齢構成	1065歳以上 0.0%
年齢構成	1075歳以上 0.0%
年齢構成	1085歳以上 0.0%
年齢構成	1095歳以上 0.0%
年齢構成	1105歳以上 0.0%
年齢構成	1115歳以上 0.0%
年齢構成	1125歳以上 0.0%
年齢構成	1135歳以上 0.0%
年齢構成	1145歳以上 0.0%
年齢構成	1155歳以上 0.0%
年齢構成	1165歳以上 0.0%
年齢構成	1175歳以上 0.0%
年齢構成	1185歳以上 0.0%
年齢構成	1195歳以上 0.0%
年齢構成	1205歳以上 0.0%
年齢構成	1215歳以上 0.0%
年齢構成	1225歳以上 0.0%
年齢構成	1235歳以上 0.0%
年齢構成	1245歳以上 0.0%
年齢構成	1255歳以上 0.0%
年齢構成	1265歳以上 0.0%
年齢構成	1275歳以上 0.0%
年齢構成	1285歳以上 0.0%
年齢構成	1295歳以上 0.0%
年齢構成	1305歳以上 0.0%
年齢構成	1315歳以上 0.0%
年齢構成	1325歳以上 0.0%
年齢構成	1335歳以上 0.0%
年齢構成	1345歳以上 0.0%
年齢構成	1355歳以上 0.0%
年齢構成	1365歳以上 0.0%
年齢構成	1375歳以上 0.0%
年齢構成	1385歳以上 0.0%
年齢構成	1395歳以上 0.0%
年齢構成	1405歳以上 0.0%
年齢構成	1415歳以上 0.0%
年齢構成	1425歳以上 0.0%
年齢構成	1435歳以上 0.0%
年齢構成	1445歳以上 0.0%
年齢構成	1455歳以上 0.0%
年齢構成	1465歳以上 0.0%
年齢構成	1475歳以上 0.0%
年齢構成	1485歳以上 0.0%
年齢構成	1495歳以上 0.0%
年齢構成	1505歳以上 0.0%
年齢構成	1515歳以上 0.0%
年齢構成	1525歳以上 0.0%
年齢構成	1535歳以上 0.0%
年齢構成	1545歳以上 0.0%
年齢構成	1555歳以上 0.0%
年齢構成	1565歳以上 0.0%
年齢構成	1575歳以上 0.0%
年齢構成	1585歳以上 0.0%
年齢構成	1595歳以上 0.0%
年齢構成	1605歳以上 0.0%
年齢構成	1615歳以上 0.0%
年齢構成	1625歳以上 0.0%
年齢構成	1635歳以上 0.0%
年齢構成	1645歳以上 0.0%
年齢構成	1655歳以上 0.0%
年齢構成	1665歳以上 0.0%
年齢構成	1675歳以上 0.0%
年齢構成	1685歳以上 0.0%
年齢構成	1695歳以上 0.0%
年齢構成	1705歳以上 0.0%
年齢構成	1715歳以上 0.0%
年齢構成	1725歳以上 0.0%
年齢構成	1735歳以上 0.0%
年齢構成	1745歳以上 0.0%
年齢構成	1755歳以上 0.0%
年齢構成	1765歳以上 0.0%
年齢構成	1775歳以上 0.0%
年齢構成	1785歳以上 0.0%
年齢構成	1795歳以上 0.0%
年齢構成	1805歳以上 0.0%
年齢構成	1815歳以上 0.0%
年齢構成	1825歳以上 0.0%
年齢構成	1835歳以上 0.0%
年齢構成	1845歳以上 0.0%
年齢構成	1855歳以上 0.0%
年齢構成	1865歳以上 0.0%
年齢構成	1875歳以上 0.0%
年齢構成	1885歳以上 0.0%
年齢構成	1895歳以上 0.0%
年齢構成	1905歳以上 0.0%
年齢構成	1915歳以上 0.0%
年齢構成	1925歳以上 0.0%
年齢構成	1935歳以上 0.0%
年齢構成	1945歳以上 0.0%
年齢構成	1955歳以上 0.0%
年齢構成	1965歳以上 0.0%
年齢構成	1975歳以上 0.0%
年齢構成	1985歳以上 0.0%
年齢構成	1995歳以上 0.0%
年齢構成	2005歳以上 0.0%

41

寿命に関係するのは？

- 食
- 気候
- 社会
- その他

42

an apple a day keep the doctor away

りんごの出荷量
60,000トン以上: 東北
50,000-60,000トン: 本島
50,000トン未満

地域	割合
東北	5%
関東	1%
中部	1%
近畿	1%
中国	1%
四国	1%
九州	1%
沖縄	1%
青森	54%
長野	19%
福井	1%
岐阜	1%
愛知	1%
三重	1%
奈良	1%
和歌	1%
大阪	1%
兵庫	1%
神奈	1%
埼玉	1%
千葉	1%
東京	1%
新潟	1%
富山	1%
石川	1%
滋賀	1%
京都	1%
奈良	1%
和歌	1%
高知	1%
香川	1%
徳島	1%
愛媛	1%
沖縄	1%

■ リンゴの生産量(農林水産省)
and Fishery)
- 1st: 青森県(54%)
- 2nd: 長野県(19%)

■ リンゴ消費量(県庁所在地)
- 1st: 長野市 35.1kg/世帯
- 2nd: 青森市 33.9kg/世帯
(全国平均: 13.3 kg/世帯)

43

平均寿命 都道府県別最下位

■ 男:
- 47th: _____ (77.28歳)、
1975年から8回め

■ 女:
- 47位: _____ (85.34 歳)
2000年から3回め

喫煙率日本一+飲酒率日本一+食塩消費量日本一
= 死亡率日本一!

44

長野県における公民館

- 長野県1,852館 (全国:16,566館)
(文部科学省:2008)
- 人口10万人あたり63.2館 (全国: 12.5館)
- 1,580人/館(8,000人/館)
 - 市町村が設置する条例公民館 プラス
 - 住民が作った自治公民館・分館が多い
- 2006年に松本大学でアジアの公民館関係者を招聘
- 飯田市(長野県)の公民館にて
 - 公民館を「する」!

45

PPK(Pin Pin Korori) 運動@長野

- 長野県教員(体育教員で下伊那郡高森町(現:飯田市)の社会教育主事に派遣)北沢豊治氏が1980年に提唱
- 高森町(現飯田市)の公民館で実践され長野県で普及、全国に拡がった。
- 高齢者の医療費は低額(4位,2014年)、在宅死の割合が高位(14%、全国12%,2010)
- 水野肇氏・青山英康教授の著書により全国的に有名になった

46

地域と学び

- Community based learning
- 住民参加"community participation"には住民の主体性が不可欠
- 教育科目の学習ではなく、**生活課題の解決について学ぶこと**
- ライフスキルの能力の向上

47

本日の講演

- 日本とバングラデシュ
- UNESCOとバングラデシュのCLC
- 公民館の歴史
- ESD国際会議2014@岡山
- バングラデシュでCLCを活用した研修の事例
- 公衆衛生・地域福祉とコミュニティー
- 東日本大震災を受けて
- まとめ

48

被災した公民館一石巻市立雄勝公民館

2012/01/11撮影
公民館への信頼の回復を!

49

石巻市雄勝と気仙沼本吉地区

50

山形(最上町)から贈られた木材

51

海外からの支援(援助)で公民館の再建

52

上棟式一建物の再生でなく地域の再生

53

早稲田大学と新宿戸山団地のシニア活動館

- 被災地(気仙沼市)の自治公民館(マリンセンター)を拠点とした支援と防災活動、高齢者と若者の学びと交流

54

東京都内(特別区)の“Kominkan”

- 地域防災・高齢化社会-大都市こそ地域の「共助」が必要
- 東京都内23区(特別区)には「公民館」がない！？-社会教育施設、集会所はある

被災地と地域防災・高齢者対策の連携

板橋区
生涯学習センター
(成増・大原)
学習推進センターいたばし
環境復興機構
帝京大学 山本秀樹

気仙沼市(前浜マリンセンター)
東北学院大学 千葉一

まなぼー(板橋区)とバングラデシュ

第1回
まなぼーと
大原
フェスティバル

1期 中高生・若者支援スペース (i-youth) では、こんなことをします！
6月3日(土)
○バングラデシュ教室とペーナムカフェ (無料 12:00ごろから)
選士日本語学校の皆さんによる食堂とカフェを行います。
新宿区・おもてなし文化開拓了となりますのでお早めに！
○集え！落書きし番 (10:30~13:00, 14:00~16:00)
大学生！といっしょに暢造紙とペンを使って、壁や机に落書きしてみましょう！
○小中学生によるダンスパフォーマンス
(公演リハーサルは14:00~14:30ごろ。本番は15:00~16:00ごろを予定)
板橋第二中学校女子ダンス部, Twinkle SMELE
パワフルなダンスをぜひ見に来てください！

日 時 6月3日(土) 午前10時～午後5時
6月4日(日) 午前10時～午後4時
会 場 板橋区立図書館 まなぼー大原
主 催 板橋区立図書館
共 催 バングラデシュ大使館
文 著 まなぼー大原
企画・運営 まなぼー大原

まとめ

- 「公民館」とソーシャルキャピタル(社会関係資本)
 - 公民館は、住民参加と住民同士・地域外の人・組織の関係性の強化を促進する社会資源となり得る
 - わが国の「公民館」をモデルにしたKominkanというべき、CLCが各国で広まっている。
- 地域人材育成
 - 学生・若者が地域(Community)を学ぶことは必要
 - 震災後社会・少子高齢化社会に生きる意味を学ぶ必要
 - 東京都内には公民館という名称の施設はなくなった
 - “Kominkan”的機能を有する施設はある。
 - 新宿区・戸山シニア活動館、板橋区・まなぼー
- 日本とバングラデシュの友好関係の発展
 - バングラデシュはソーシャルビジネスのメッカ
 - 日本もバングラデシュから学ぶ事が多い
 - 治安の改善

W-BRIDGEプロジェクトシンポジウム

**先進国で暮らす私たちは
「社会福祉の転換期」
にどう立ち向かうのか**

～パングラデシュの事例から考える“市民主導型”的可能性～

 GCMP
Global Change Makers Program

基調講演

池田洋一郎先生
(財務省、官民協同ネットワークCrossover代表)

「市民参加による国づくりの現場から
～元世界銀行職員からの報告～」

 GCMP
Global Change Makers Program

基調講演

山本秀樹先生
(帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授)

「海を渡った“Kominkan”
～パングラデシュと日本の現場で順民参加の輪を紡ぐ～」

 GCMP
Global Change Makers Program

W-BRIDGEプロジェクトシンポジウム

**先進国で暮らす私たちは
「社会福祉の転換期」
にどう立ち向かうのか**

～パングラデシュの事例から考える“市民主導型”的可能性～

 GCMP
Global Change Makers Program

薄井 大地

栃木県立宇都宮高等学校
↓
早稲田大学政治経済学部
↓
国内の教育課題(不登校・高校中退問題)
↓
国際協力(教育/環境)





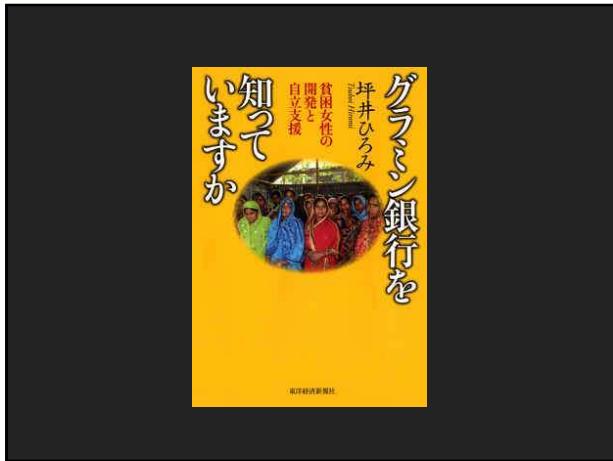
5

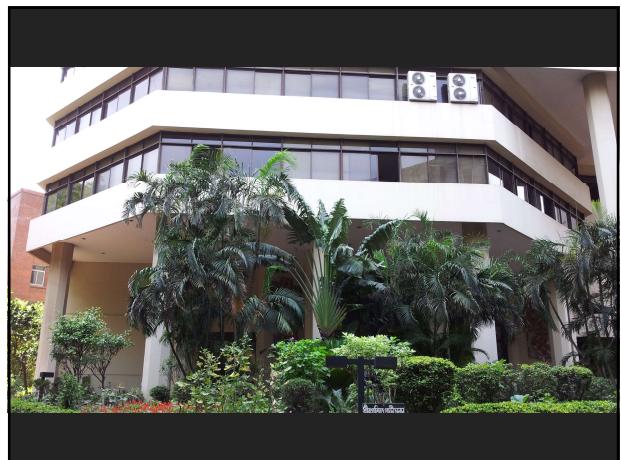


Global Change Makers Program
私たちGCMPは
若者と世界で起こる「Social Change」との架け橋です



6





一緒に何か
やりましょう！



20



21

分かりました！
日本人100人送ります！

Program フィールドワークプログラム



Change Maker チェンジメーカー





25



26

そして、次のステージへ！

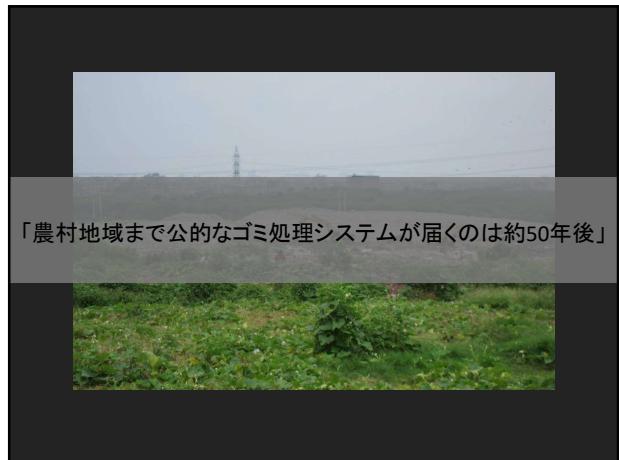
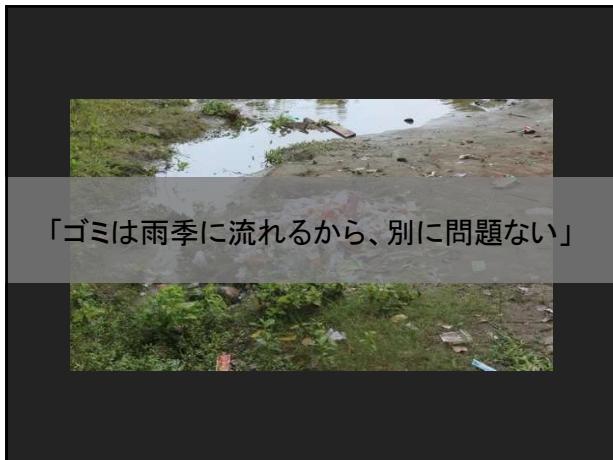


「プログラム型」から
「プロジェクト型」へ



発展途上国共通の課題
「ごみ問題」





GramClean
Towards a Waste Free Village Development

Overview About Us Contact Us Pilot Program Photo Gallery A English ▾

One garbage collector collects garbage from a school.

Waste Collection Summary

Waste Type	Chhayagon	Ekhiaspur	Mohamoti	Total
Ash (Kg)	109.59	773.95	78.77	950.22
Burnable (Kg)	453.68	1417.22	356.62	2221.52
eWaste (Pc)	543	680	669	1892
Glass (Kg)	164.65	8.00	36.33	208.98
Metal (Kg)	208.40	14.46	14.66	237.52
Plastic Bottle (Kg)	722.76	1633.33	46.48	2402.57
Polythene (Kg)	508.28	1075.10	128.06	1709.44
Total (Kg)	2187.36	4921.97	658.92	7748.25
Total (Pc)	543	680	669	1892

33

活動地

▶**パングラデシュ エクラスプール村**
→首都ダッカから車で約4時間
→過去8年間フィールドワークを実施

エクラスプール村の基礎情報

面積	35.196km ² (うち約40%にあたる13.759km ² が農地)
世帯数	3,331世帯(東部:約2400世帯、西部:約900世帯)
人口	21,183人
学校数	小学校11校、中学校2校(高等教育機関なし)
識字率	50%

GramClean
Pilot Program

35

プロジェクトの基本設計

Garbage Collection Mechanism

```

graph TD
    subgraph Households [Households]
        H[House] --> G1[Gather trash in a separate bin]
        H --> G2[Gather other garbage separately]
        G1 --> C1[Garbage collector collects waste for stationeries]
        G2 --> C1
        C1 --> T1[Collect & transport garbage by rickshaw-van to Storage Place]
    end
    subgraph MarketStreets [Market & Streets]
        M[Market] --> G3[Gathers garbage in simple bins]
        M --> G4[Gathers garbage in classified bins]
        G3 --> C2[Collect & transport garbage by rickshaw-van to Storage Place]
        G4 --> C2
        C2 --> T2[Managed by VIE]
    end
    subgraph School [School]
        S[School] --> G5[Gathers garbage in classified bins]
        S --> G6[Gathers trash in a separate bin]
        G5 --> C3[Collect & transport garbage by rickshaw-van to Storage Place]
        G6 --> C3
        C3 --> T3[Managed by VIE]
    end
    T1 --> SP[Garbage Storage Place]
    T2 --> SP
    T3 --> SP

```

36

ごみ回収の様子



Garbage collection from households

Garbage collection from streets

37

ごみ回収の様子



Garbage collection from schools

38

ごみ回収の様子



39

ごみ回収の様子



Garbage sorting at storage place

40

ごみ回収の様子



Awareness building and campaign program in school

Global Communication Center

41

ごみ回収の様子



Plastic Packages (Sellable)

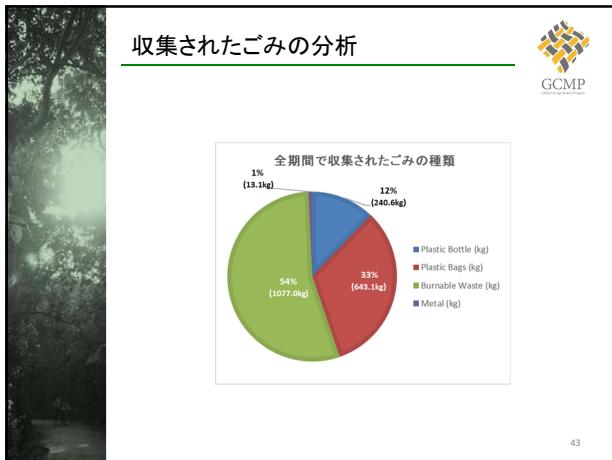
Plastic Bottles (Sellable)

Paper trashes (Bumable)

Separated garbage are weighed.

Global Communication Center

42

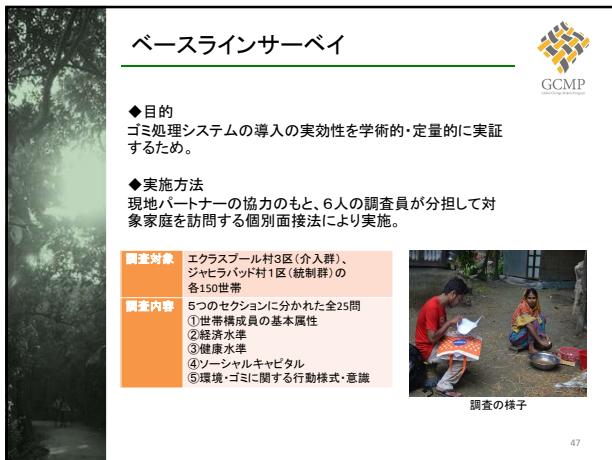


収集されたごみの分析

Month	Plastic Bottle (kg)	Plastic Bags (kg)	Burnable Waste (kg)	Metal (kg)
February	104	29.0	40.8	2.0
March	120	32.0	57.0	0.0
April	74	17.0	41.4	0.0
May	14.0	24.3	37.9	0.0
June	9.2	17.9	25.7	0.0
July	9.7	18.7	24.1	0.0
August	9.8	27.1	35.0	0.0
September	14.7	24.0	44.0	0.0
October	12.8	27.0	50.0	0.0
November	11.2	34.4	52.5	0.0
December	18.8	33.4	115.8	0.0
January	18.5	70.8	98.5	0.0
February	22.0	64.5	95.1	0.0
March	33.0	100.0	158.8	0.0
April	29.0	88.8	158.0	0.0
May (~8th)	6.8	18.0	37.0	0.0
Total	240.8	643.1	1077.0	13.1

GCMP

44



W-BRIDGEプロジェクトシンポジウム

先進国で暮らす私たちは
「社会福祉の転換期」
にどう立ち向かうのか

～バングラデシュの事例から考える“市民主導型”的可能性～

GCMP
Global Change Makers Program

8

第2部 パネルディスカッション

<パネラー>
池田洋一郎先生
山本秀樹先生
薄井大地(GCMP代表)

<ファシリテーター>
野口晴子(早稲田大学大学院政治経済学術院教授)



W-BRIDGEプロジェクトシンポジウム

先進国で暮らす私たちは
「社会福祉の転換期」
にどう立ち向かうのか

～バングラデシュの事例から考える“市民主導型”的可能性～





W-BRIDGE プロジェクトシンポジウム

先進国で暮らす私たちは「社会福祉の転換期」にどう立ち向かうのか

～バングラデシュの事例から考える"市民民主導型"の可能性～

参加者アンケート

本日は GCMP 主催のシンポジウムにご参加いただき誠にありがとうございました。

今後の参考とさせていただきますので、アンケートへのご協力お願いいたします。

性別 : 男性 ・ 女性

年代 : 10 代 ・ 20 代 ・ 30 代 ・ 40 代 ・ 50 代 ・ 60 代以上

ご所属 : 学生 ・ 社会人 ・ その他 ()

1. このイベントをどこで知りましたか

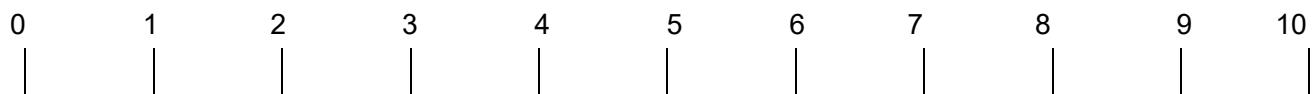
- Facebook (イベントページ招待 / タイムライン) トヨウエンジンでの紹介 その他 Web
 知人の紹介 大学構内での掲示 その他 ()

2. 本シンポジウムの満足度について以下の設問についてお答えください

第1部 基調講演

←不満足

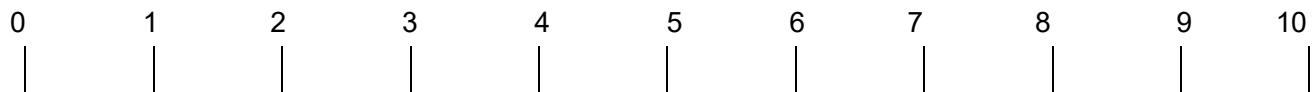
満足→



第2部 パネルディスカッション

←不満足

満足→



3. ご感想やご質問がありましたらご記入ください

ご協力ありがとうございました